

◆◆◆雨の言葉◆◆◆

■一昨日から続いた雨もようやくひと段落。
 私たちには少し迷惑な空ですが、
 草花たちにはうれしい雨になったことでしょう。
 今日は雨の話題です。
 日本語は雨の言葉が多いと言われます。例えば…



春雨、五月雨、夕立、時雨、菜種梅雨、狐の嫁入り、飛雨、鉄砲雨、
 細雨、通り雨、俄雨、長雨…

これらは雨の名前の言葉。
 英語で「rain」と表すものが日本語にはまだまだたくさん、いろいろあります。
 降る時期や季節によって。時間帯によって。降り方によって。
 実にさまざまな「雨」があります。

■次に紹介するのは雨の降り方を表す言葉。これもいろいろあって例えば…

ショボショボ降る しとしと降る パラパラ降る ぽつぽつ降る
 ざあざあ降る バシバシ降る どしゃどしゃ降る…

それぞれの雨のようすが浮かんできますね。
 そしてそれぞれに違いますね。
 雨だけでなく周りの情景までなんとなく想像がふくらんでくるから不思議です。
 降り方一つにも、雨粒の大きさ、降り続く長さ、雨粒が当たる場所などによって
 こんなにもいろいろな表現があります。
 これらを英語で表すのは…難しそうです。ALTのアフィア先生に尋ねてみます。

■最後に紹介するのは「雨」を使った言葉。これも例えば…

雨宿り、雨間、雨脚、雨ごもり、雨垂れ、雨男、雨女、雨あがり
 雨模様…

やっぱりいろいろあります。雨の言葉の豊かさ。
 これは私たち日本人がずっと昔から雨に心をよせ、上手に付き合い生活してきた証拠。
 豊かな言葉は豊かな心とつながっていると信じて、子どもたちに伝え働きかけていきたい
 と思います。